



整理No.2019-25		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2018年 7月 23日(木) 12時 20分 天候(晴れ) 温度(39.7℃) 湿度(46%) WBGT値(34℃)			
災害区分		不休災害 <u>休業災害</u> (休業:2日)			
被災者	部門	製造 間接部門		雇用形態	正社員、 <u>派遣</u> 、契約、その他()
	年齢	40歳	性別: 男 <u>女</u>	勤続年数	年 3.5ヶ月 経験年数 年 3.5ヶ月
	傷病名	熱中症			
	傷病部位	-			
災害発生状況	①午前中、テント倉庫で容器へのラベル貼り作業を行っていた。昼休憩時に昼食を取ろうとしたが、体調が悪かったので、更衣室で休憩していた。		状況概略(写真orイラスト) 容器準備場所(テント倉庫)外観		
	②12:20頃から急に頭痛や手足の筋肉の硬直が始まり、呼吸も苦しくなった。				
	③食事を終えた同僚が被災者の状況に気付き、関係部門に連絡し、救急車の手配を行なった。		容器準備場所(テント倉庫)内部		
	④当日は、10:30～10:45まで小休憩を取り、作業中も水分を摂取していた。また、前日の睡眠時間は8時間以上と十分取れていた。		 ※容器を移動した為、空いているが当日は、石油缶で一杯だった。		
	災害の型 ^{※1)} :8 高温物との接触(やけど、熱中症)		作業の形態: <u>定常</u> 、非定常、その他()		
起因物:高気温(作業環境)		特記事項 特になし			
原因分類	1.人的要因(man): 特に無し				
	2.物に関する要因(machine): 特に無し				
	3.環境要因(media): 高気温の倉庫(作業場)				
	4.管理的要因(management): 特に無し				
対策	①当面の対策として、テント倉庫内での作業を中止し冷房の効いた場所で作業させる。				
	②恒久対策として、7～9月の猛暑時期3か月間はテント倉庫内でのラベル貼り作業は行わない。また、恒久対策対象前後月の6月、10月はWBGT値換算表を基に管理者の指示に従い作業を進めることとする。				
	③WBGT値換算表を配布し、自分の作業環境がどんな状態なのかを把握し休憩・水分補給の目安とする。				
	対策分類 ^{※2)} :1-2災害・事故の想定と対応、1-5変更管理、2-1マネジメント、2-4危険認識				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)

(参考) W B G T 値と気温、相対湿度との関係
相対湿度 (%)

	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	
気 温 ($^{\circ}$ C) (乾 球 温	40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
	39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
	38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
	37	27	28	29	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41
	36	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	39
	35	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38
	34	25	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37
	33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	32	33	34	35	35	36
	32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	35
	31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34
	30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	32	33
	29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	32
	28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31
	27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30
	26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29
	25	18	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28
	24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27
	23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	
21	15	15	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24	

W B G T 値	注 意 25 $^{\circ}$ C未満	警 戒 25 $^{\circ}$ C~28 $^{\circ}$ C	嚴重警戒 28 $^{\circ}$ C~31 $^{\circ}$ C	危 険 31 $^{\circ}$ C以上
-----------	--------------------------	--	---	--------------------------

(ここで、28 $^{\circ}$ C~31 $^{\circ}$ Cは、28 $^{\circ}$ C以上31 $^{\circ}$ C未満の意味)

※ この図は、気温と湿度から簡単にW B G T 値を推定するために作成されたものであり、室内で日射が無い状態（黒球温度が乾球温度と等しい。）とされたものなので、正確なW B G T 値と異なる場合があります。

特に、屋外においては輻射熱が大きいのので注意が必要です。（日常生活における熱中症予防指針Ver.3から）